

平成20年第2回定例会一般質問

平成20年第2回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日時 6月9日(月)・10日(火)・11日(水)・12日(木) いずれも午前10時から

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話 042-387-9947)

6月9日(月)

氏名	発言の表題
露口哲治	1 街路灯、防犯灯、商店街路灯等の設置基準や今後の設置計画を問う
	(1) 平成19年度実施、地域限定の街路灯(防犯灯)照度アップ事業の経過と結果について
	(2) 従来の20ワットと32ワット灯の建設経費、維持費などを比較しての今後の方針は
	(3) 駅から離れた地域こそ優先して照度アップが求められるのではないか
	(4) 東京都の80%補助事業、環境に配慮した街路灯設置について市の見解を求める
	2 野川遊歩道のふん害について問う
高木真人	3 子どもの権利条例について問う
	1 小金井市消防団の団員募集について
	(1) 募集の経過並びに結果について
	(2) 過去に欠員を出したことは何回あったのか
	(3) 発足当初に3分団に欠員が生じたのは時代の変遷なのか
	(4) 国と東京都の消防団員募集の方針について
	(5) 推薦委員会の中心である町会長の意見も聞くべきではないか
	(6) 今期の結果を踏まえ、小金井市の次回への対応策について
	2 西庁舎の西側敷地内の運動器具について
	(1) 雨ざらしに放置されている器具は組合所有物か個人か
	(2) 社保庁、国交省の税金の不適正な支出と同様に見られないか
	(3) 市役所内の遊休地の利用と職員福利厚生について
	(4) 市民に誤解されないような対策を講じてもらいたい
	鈴木洋子
(1) 通学路の再点検をしないか	
(2) 不審者情報が出た場合の対応は	
(3) 不審者情報提供の拡充を	
2 7月の環境サミット(洞爺湖)開催を機会に市民運動を啓発する更なる具体的な環境政策を考えないか	
(1) エコエネルギーの活用の啓発事業を	
(2) 一定の日時を決めて、省エネ運動を	
(3) ノーカーデーを検討しないか	
宮崎晴光	1 北大通り交通渋滞を早期解消するために
	(1) 小金井市の主要幹線都市計画道路がなぜ12mなのか
	(2) 他の都市計画道路整備との関係は
	(3) 渋滞解決に向けてネックの具体的解決策は
	(4) 東京都の交差点改良事業補助金を利用して早期整備しないか

宮下 誠	1 ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）を充実させる政策展開について
	(1) ソーシャル・キャピタルの意味について
	(2) さいたま市の取り組みについて
	(3) 市域を分割したアンケート調査を行って、基本構想にソーシャル・キャピタルの観点を導入しては
	(4) NPOなど市民活動の拠点の整備・設置を行わないか
	(5) 自治会やNPOを応援し、コーディネートする窓口を作らないか
	(6) 長期的視野に立った地域行事の場所の整備・確保を望む
	(7) CoCoマップこがねい（地図情報システム）の更なる充実を
	2 高齢者向けの聴覚検診について
	(1) 高齢者の難聴の実態とその影響について
	(2) 坂戸市・鶴ヶ島市の取り組みについて
	(3) 介護予防の基本チェックリストに聴力チェックを導入するなど、体制を整備して、聴力低下の早期発見・早期治療を目指さないか
	(4) 補聴器のアドバイス体制を構築できないか
	(5) 福祉や介護の関係者と耳鼻咽喉科医師との連携が強くなるよう環境整備をしていかないか
	五十嵐京子
(1) 啓発活動の充実を。高齢福祉、母子保健、精神保健、子育て支援、男女共同参画、教育委員会など各部署における有効な方法を	
(2) 「心の相談室」の設置を	
(3) 医師会や保健所など関係機関との協力も得て、対策委員会の設置を	
2 生涯学習推進計画の到達点と第2次計画に向けての課題を問う。特に推進体制の整備の項目で検討課題となっている下記について進捗状況を聞きたい	
(1) 総合学習相談窓口の開設	
(2) 学習・文化・生活情報の収集	
(3) コーディネーターの育成と活用	
(4) 児童青少年指導者と団体の育成	
(5) 学校の施設・設備の充実	
(6) 生涯学習推進組織の活用	

6月10日（火）

氏名	発言の表題
斎藤康夫	1 平成28年度までの可燃ごみ処理
	(1) 広域支援の限界を冷静に検証すべきである
	(2) 暫定処理、本格処理という概念を払拭すべきである
	(3) 広域支援解消は可能である。直近処理の必要性を再度問う
	(4) 直近処理のプロポーザルコンペの実施を早急にすべきである
	2 平成29年度以降の可燃ごみ処理
	(1) 可燃ごみの処理方法を早急に検討すべきである
	(2) 「焼却処理」に限定せずに「脱焼却」の検討をすべきである
	(3) 中期計画のプロポーザルコンペの検討を早急にすべきである
	3 小金井市耐震改修促進計画について
	(1) 小中学校の耐震改修の次に何をすべきか
	(2) 木造住宅の耐震診断、耐震改修助成制度の活用状況について
(3) マンションの耐震診断、耐震改修助成制度の必要性について	
遠藤百合子	1 地域の絆を再生し更なる安全を目指して
	(1) 地域パトロールの現状を踏まえ、自治会・PTA・警察署等の更なる協力体制を図るには
	(2) ワンワンパトロールを全市に拡げないか
2 消費者行政の充実を求めて	

	(1) 消費者相談を周知し被害を少なくしていくには
	(2) 消費者庁構想のあるなか、小金井市の連動した体制づくりを
	3 貫井南町貫井大橋から西の野川側道、特に暗かった西之橋から鞍尾根橋の北側に街路灯が設置されている。南側への設置はいかに
紀由紀子	1 子育て支援として「こんにちは赤ちゃん事業」を実施しないか
	(1) 新生児訪問の現状はどうか
	(2) 訪問の効果はどうか
	(3) 「こんにちは赤ちゃん事業」として全戸訪問を実施しないか
	(4) 訪問後の対応をどのようにするか
	2 小金井市の食育推進について
	(1) 「小金井市食育推進計画」の市民への周知はどのように行うか
	(2) イベントの開催をどのようにしていくか
	(3) 栄養教諭の配置の現状はどうなっているか
	(4) 各小中学校に栄養教諭を配置しないか
村山秀貴	1 消防団員の募集状況について
	(1) 今までの募集状況（体制・方法）の確認。課題は何か
	(2) 女性消防団員に対する見解は
	(3) 消防団員への優遇制度を検討しないか
	2 住宅用火災警報器の取り組みについて
	(1) 高齢者世帯などへの購入費補助を考えられないか
	(2) 高齢者世帯などへの取り付け作業の補助は
	(3) 悪質商法対策は
青木ひかる	1 小金井市のがん対策を問う
	(1) がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）受診率の目標50%に向けての取り組みは
	(2) 健康的な生活習慣の普及啓発、がんについての正しい知識の普及啓発を、年齢に応じて学校教育のなかで行わないか
	(3) 職場や飲食店などにおける禁煙・分煙環境の整備のために、商工会等を通じて働きかけを
	(4) がんの治療を受ける患者や家族は、精神的なことだけでなく、経済的にも大きな不安を抱えることになる。高額療養費のしくみや限度額適用認定証についてもっと広報しないか
	(5) 手術後のリハビリテーションや栄養指導を医師と連携して行わないか
	(6) 住み慣れた家庭や地域での療養を誰もが選択できるように、在宅医療の体制整備を
和田茂雄	1 介護保険事業の課題と対策について
	(1) 厚労省の有識者会議の調査で、介護予防によって介護度が20%改善されたとしているが、本市ではどうか
	(2) 各施設、事業所は受給者のニーズに応えられているか
	(3) ヘルパー不足がいわれるが、実態はどうか
	(4) 介護現場の実態を把握し、課題解決のために近隣市や都と連携して、国へ強く働きかけるべきだ
	2 長寿医療制度について
	(1) 制度の理解と周知を図る手立てを打っているか
	(2) 医師会の協力は得られているか
	3 介護と医療は密接に結びついており、介護・医療連携のシステムづくりが重要と思う。そのための体制づくりをすべきだ

6月11日(水)

氏名	発言の表題
伊藤隆文	<p>1 75歳以上の高齢者の新しい医療制度(長寿医療制度)には問題点が多いので、小金井市ができる対策を問う</p> <p>(1) 高齢者の健康を保持増進するために、低所得者の生活を圧迫する保険料の徴収方法は改め、低所得者からの申請があれば、年金からの天引きは中止して、窓口等で普通徴収にすべきだ</p> <p>(2) 政府・与党は低所得者の保険料の軽減措置を拡充する。小金井市としても補助金等による軽減措置を先進的に取り組むべきだ。</p> <p>(3) 病気の早期発見・早期治療は治療費の抑制につながる。人間ドックや健康診断の助成金を増額し、受診率を上げるための対策は</p> <p>(4) <高齢者担当医>制度は高齢者の健康の保持増進にどのように役立たせるのか、また役立つように普及する対策は</p>
水上洋志	<p>1 市民のくらしと営業を守る対策の強化を求める</p> <p>(1) 市民税の減免制度の拡充を</p> <p>(2) 住民税の老年者非課税措置の廃止に軽減策の実施を求める</p> <p>(3) 中小零細業者への支援策の充実を</p> <p>2 ココバス北東部循環のより一層の充実のために</p> <p>(1) ココバス北東部循環の現状と課題をどう考えるのか</p> <p>(2) 2ルート化などの検討が必要ではないか</p> <p>(3) いくつかの改善点を要望する</p>
関根優司	<p>1 市庁舎建設問題と再開発</p> <p>(1) 市のこれまでの説明とこの間の経過のギャップ</p> <p>(2) 1万㎡のジャノメ跡地が庁舎建設予定地であるのに何故第二地区に新たな土地を求めるのか</p> <p>(3) 9.2億円の庁舎建設はムダ使い</p> <p>(4) リース庁舎は早急に解消すべき</p> <p>(5) 本来庁舎建設は市民参加で決定すべき</p> <p>2 再開発第二地区の諸問題</p> <p>(1) 第二地区の現状について</p> <p>(2) 再開発で行うとした場合、どのようなスケジュールになるのか。その場合権利者の権利と財産はどう守られるのか</p> <p>(3) まちづくり条例の活用など、権利者の要求の実現には多様な方法が検討できるのではないか</p> <p>3 子育て支援策について</p> <p>(1) 子育て支援ヘルパー制度の充実と財政援助の強化</p> <p>(2) 子育ての電話相談体制の強化</p> <p>(3) 予防接種の会場の増設を</p> <p>(4) 私立幼稚園が減ることに対する対応は</p>
漢人明子	<p>1 三多摩30自治体エコランキングの結果を受けて</p> <p>(1) 小金井市は総合ランキング4位となったが、平均値を下回る分野もあり、バランスはよくない。市長の総合的な感想を伺う</p> <p>(2) 特に、平均を下回った3分野(国内外の森林保全・企業における取り組みの推進・学校給食)について取り組みを強化しないか</p> <p>2 小金井市地球温暖化対策実行計画(市役所版)の温室効果ガス削減目標は達成できるのか</p> <p>(1) 「2007年度から2010年度までの4年間で、2004年度実測値の排出量4,908tを6.3%(311t)削減し4,597tとする」との目標を達成するための、各課・施設ごとの具体的な削減計画の策定状況</p> <p>(2) 3月の省エネルギー診断報告書によると、受診校のエネルギー消費量は地域平均を10~32%程度上回ることが判った。この分析と対策について</p>

	(3) 既存施設を含む市施設への再生可能エネルギー導入計画について
	3 DV防止法第2次改正を受けて、市のさらなる取り組みを求める
	(1) DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）第2次改正により努力義務となった市町村計画の策定を
	(2) 予防、発見にむけた職員研修の徹底と、DVカードの活用拡大を
	(3) 被害者情報の漏洩を防ぐための対応の徹底を
野見山修吉	1 加齢とともに増加する認知症への不安をなくしていくために
	(1) 早期発見、早期予防のための工夫について（取り分けて若年性認知症）
	(2) 後期高齢者医療制度と認知症
	(3) 認知症を支える体制について
	2 リース庁舎の契約更新の交渉について
	(1) 家賃及び維持管理費の決め方はどうするのか
	(2) 契約更新は何年なのか。
	3 国連障害者の権利条約の発効と市政
	(1) 条約の精神の研修を基礎に担当課は業務運営をしてほしい
	(2) 障害者差別禁止条例の制定を

6月12日（木）

氏名	発言の表題
板倉真也	1 介護保険事業計画第4期の見直しでは、利用者とサービス提供事業者の声を十分に反映したものに改善を
	(1) 財務省が示した介護保険給付費の抑制方針に対する見解を問う
	(2) 認知症高齢者を抱える家族への支援体制の充実を
	(3) 高齢者世帯および日中独居高齢者宅への訪問体制の充実を
	(4) 高齢者への一般施策の充実を
	(5) にし包括支援センター開設に向けた進捗状況を問う
	(6) 今年度、策定予定の第3次介護保険計画では、計画案に対する事業者、市民との懇談会を行い、その声を計画に反映せよ
	(7) 介護保険料の負担軽減を
	2 業務教育での保護者負担の軽減を
	(1) 保護者負担とする根拠は何か
(2) 就学援助受給者の学校行事費などの一時たてかえ制度の改善を	
(3) 物価高騰による学校給食への影響と対応を問う	
(4) 教育予算を増額し、教材費・副教材費などの保護者負担をなくすべき	
小山美香	1 温暖化対策を進めるために、雨水の循環や緑の活用を市役所から始めよ
	(1) 貯留槽の雨水を再利用して打ち水の勧めを
	(2) 緑のカーテンで涼しい夏の創出を
	(3) 駅前開発地域の緑の配置に意見を
	(4) 緑を守り育てるサポーター制度を
	2 障害者の働く場として、第2庁舎の軽食堂を活用しないか
	3 防災への市の対応策について
	(1) 地域防災計画の見直しの進捗状況について
	(2) もしもの時の応急・復旧対策について
	(3) 地域生活環境指標と、ハザードマップの作成を
(4) 市民への周知について、概要版を作らないか	
森戸洋子	1 地球温暖化防止にむけ、小金井市の対策を問う
	(1) 今日の地球温暖化について、市の見解を問う
	(2) 小金井市環境基本計画で定められた「地球温暖化防止計画」を早急に策定しないか
	(3) 大規模な建築物の建築主、事業所、市民に対するPRと具体策を早急にたてるべきではないか

	2 ごみ処理施設建設について、市の見解を問う
	(1) 市長は市民検討委員会の答申を受け、どのように進めるのか
	(2) 市が市民検討委員会に提示したジャノメ工場跡地、二枚橋焼却場は不適地であり、都にも更なる支援を求めていくべきではないか
	(3) 市民や議会が提案しているごみ減量施策を市は積極的にとり入れるべきではないか
中根三枝	1 地球環境を守るために温暖化対策としてCO ₂ の削減が不可欠
	(1) 市役所で現時点でCO ₂ 削減策としてとられている方法は、将来的にはどの程度考えているか（削減値がわかれば）
	(2) 市民への働きかけをして意識を高めて大きな力にしたい。現時点ではどう呼びかけているか
	(3) 環境教育は大切である。現在、どう教え、実行はどうされているか
	2 ココバスの現状について
	(1) 各路線の乗客数と収支の推移
	(2) 収益に対する市の考え方は